

給食後の歯磨きについて

滋賀県歯科医師会

監修

滋賀医科大学医学部 歯科口腔外科講座

助教 町田 好聡 先生

学校歯科保健とは

学校歯科保健

⇒学校という「教育の場」で行われる教育活動

学校歯科保健活動は、子どもの豊かで健全な歯・口の働きの発達を支援するという視点で歯・口の健康づくりを考えることが必要。

「食物をよく咬み、味わいおいしく食べること」

「人と豊かに話すこと」

歯・口の働き⇒生活の楽しさ・豊かさに直結

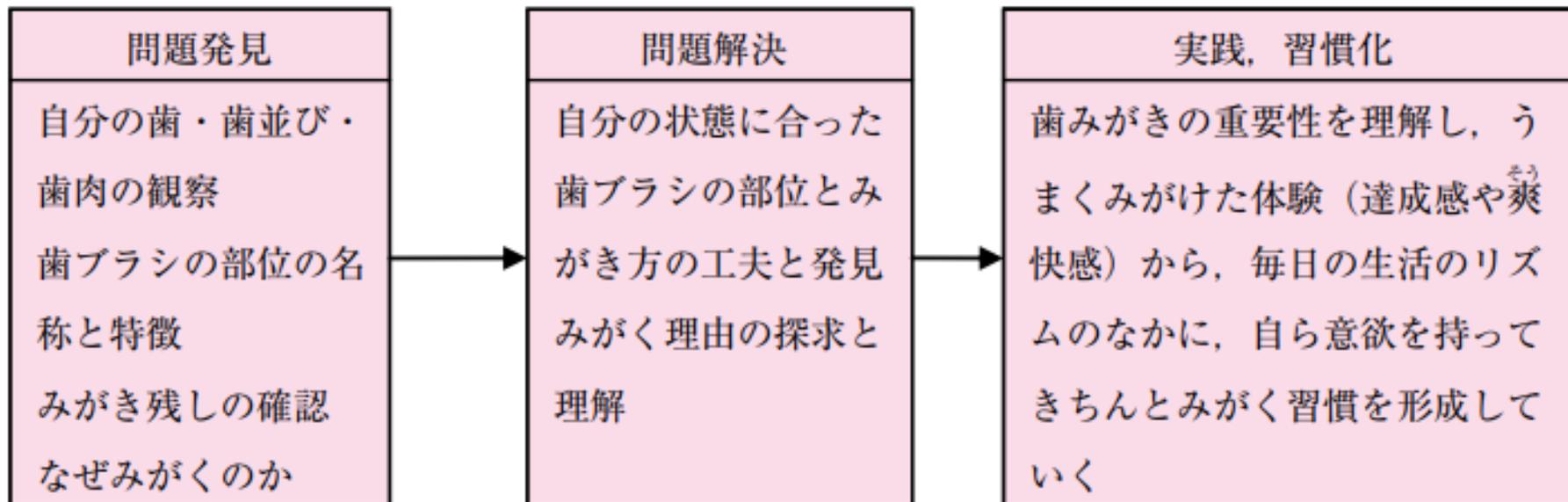
この働きを正しく発達させ獲得するために、子どもの歯・口の健康を維持し、増進するための保健教育・保健管理が重要。

学習材料として理想的

- 子供たちが自分で健康を維持していく知識，選択能力，行動力の育成であると考えます.
- 口の中は，鏡によりリアルタイムに観察可能
例) 炎症状態にある歯肉の発赤・腫脹・出血の有無
- 行動変容の結果が自己評価しやすく，話題の共通性に富んでいる.
例) ・ブラッシングにより改善された歯肉の状態
・歯の生え変わり，萌出など体の変化や成長が容易に実感できる.

学習材料として理想的

* 歯みがき指導の展開例



「健康」

【健康】

人が自己実現を図るための資源

人と人の集まりである社会全体の活力を生みだす資源



学校では心身の発育・発達の段階にある子どもが、教育や体験を通じて人格形成や健康づくりの基礎的な素養が培われる場。

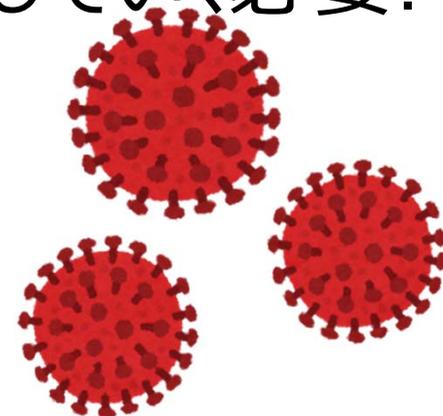
学校における基本的な 新型コロナウイルス感染症対策について

ウィズ・コロナの時代，新しい生活様式への移行が
不可欠

- 手洗い・咳エチケット・換気
- 「3つの密」を避ける
- 身体的距離の確保
(ソーシャルディスタンス・フィジカルディスタンス)
- 人との間隔が十分とれない場合，マスク着用

学校の新しい生活様式

- 「新しい生活様式」を導入し，地域の感染状況を踏まえ，学習内容や活動内容を工夫しながら可能な限り，授業や部活動・各種行事等の教育活動を継続し，子供の健やかな学びを保障していくことが必要.
- 学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で，学校運営を継続していく必要.



歯磨きの自粛状況については、
各学校の判断で良いと考えます。



ソーシャルディスタンス

子供たちの間隔は？

蛇口を1つ飛ばしで

空いてる蛇口は水をだしたまま

並んで待つ

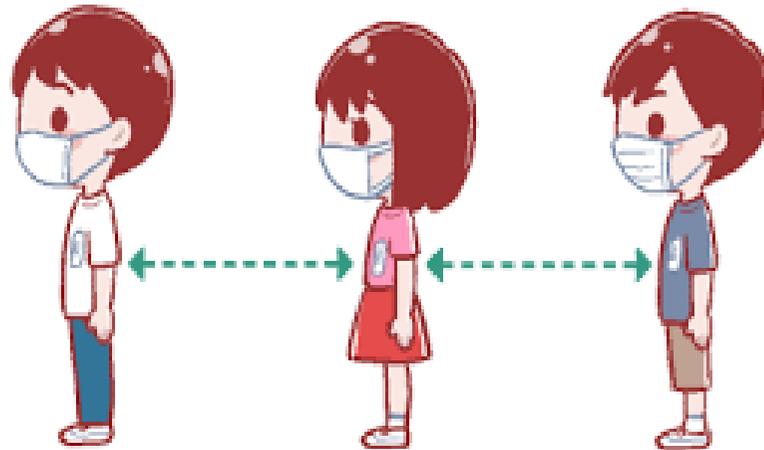
時間ずらして

待っている時はマスク着用



順番に

- 今日は男子から，明日は女子
- 学齡の下の子から
- グループ別に
- 譲り合い



換気

- 窓を開けて
- 理科室 料理室 外の水栓



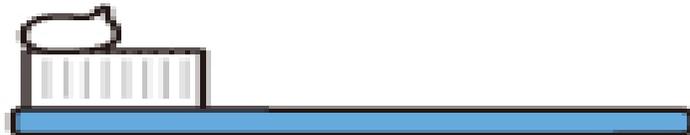
歯磨き中

- 私語はしない
- 出来るだけ口を結んだ状態で
- 歯ブラシをもってない手で覆う
- 手鏡で覆う



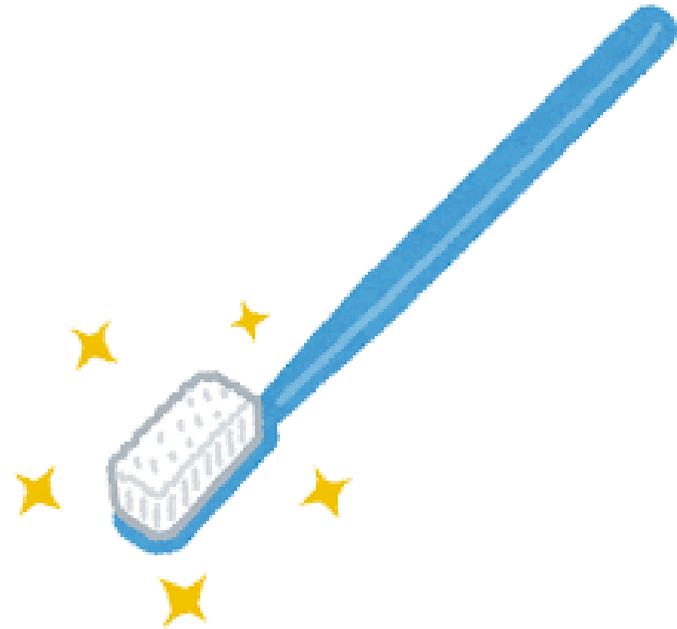
歯磨剤

- 量の制限
- 歯磨剤の使用中止も方法の1つです



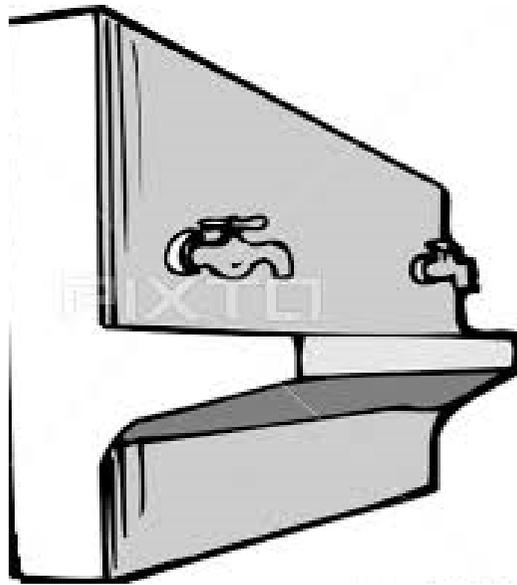
歯ブラシ

- 流水で良く洗い水を切って乾燥させる



歯磨きのあと

- 洗口場の清掃・消毒はしっかりと



うがい

- ブクブクうがいは出来るだけ少ない水で
- だいたい10ml
- 水をはきだすときは、ゆっくりと低い姿勢で
- タオル持参
- コップに少しの水いれて



学校での歯みがき

- 保健教育の一環として.
- 給食後にこだわらず，休み時間でもOK



手洗いのタイミング

手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻をかんだとき



給食（昼食）の前後



掃除の後



トイレの後



共有のものを触ったとき



うがい薬について



うがい薬については、公共的用途において使用する場合、厚生労働省が効能を認めたいうがい薬を選択する必要があります。しかしながら、現在、効能を認めたいうがい薬はありません。また、アレルギー出現の可能性も懸念されるため、十分な保護者・本人への説明が必要と考えられます。学校長・養護教諭・学校医・学校薬剤師とも相談、連携のうえお願いいたします。